

〈赤旗 6/18付〉

3セクACA 取締役総退陣へ

足立 共産党が乱脈経営追及

乱脈経営が問題になっ
ていた足立区文化芸術劇
場(シアター1010)の
運営委託会社で同区
第三セクター「足立コ
ミュニティ・アーツ」(A
C)の古庄孝夫社長はし
め現取締役全員が、その
責任を認めて辞任するこ
とが十六日、分かりまし
た。同日開かれた区議会
総務委員会で日本共産党
の針谷みきお議員が、こ
の問題で追及しました。
同社の経営をめぐって
Aは、日本共産党区議団の
C Aは五日の取締役会で
追及で、二〇〇四年度に
全員の辞任することを確
認した。同日開かれた区
議会の開館記念事業で、採
算



「シアター1010」が入っている北千住駅前のビル＝足立区

足立コミュニティ・アーツ
「シアター1010」の
劇場運営の委託先(指定
管理者)として二〇〇二年に設立
され、区が57%(当初30%)の株
を所有する第三セクター。社長の
古庄孝夫氏は元自民党足立区総支
部長で、鈴木恒年区長の選対本部
長も務めました。日本共産党区議
団は、議会のたびにACAの乱脈
経営を追及し、改善を要求してき
ました。

6/18H

を度外視した企画や無駄
づかいで七千万円もの赤
字を出し、協定書にない
「事務手数料」を一億四
千七百万円も区が支出し
たことが明らかになって
いました。
このほか、当初無報酬
だった同社長に月額六十
万円を上限とする役員報
酬の決定や接待交際費に
百三十三万円も支出する
一方、劇場貸出料の多額
の未収など、乱脈経営が
浮上っていました。石川
徳信氏らが「事務手
料」は不当な支出だとし
て、同手数料の返還を求
める住民監査請求も起こ
しています。
この日の委員会で、区
は経営上の問題があった
ことを認めることもに、
経営を立て直すため、区
の課長級職員を派遣する
方針を明らかにしまし
た。